

第9 火災概況

火災概況の見かた

この概況は、消防組織法第40条に基づく「火災報告取扱要領（平成6年4月21日付け消防災第100号）」により、市町村から報告された平成18年1月から12月までの火災報告をもとに作成したものである。

1 火災の定義

「火災」とは、人の意図に反して発生し、若しくは拡大し、又は放火により発生して消火の必要がある燃焼現象であって、これを消火するために消火施設又はこれと同程度の効果のあるものの利用を必要とするもの又は人の意図に反して発生し、若しくは拡大した爆発現象をいう。

2 対 象

対象は、広島県内において発生したすべての火災とする。

3 火災の種類

火災は、次の6種に分類する。火災が2種以上にわたった場合は、焼き損害額の大きなものの種別による。

(1) 建物火災

建物又はその収容物が焼損した火災をいう。

「建物」とは、土地に定着する工作物のうち屋根及び柱若しくは壁を有するもの、観覧のための工作物又は地下若しくは高架の工作物に設けた事務所、店舗、興行場、倉庫その他これらに類する施設をいい、貯蔵槽その他これに類する施設を除く。

「収容物」とは、原則として柱、壁等の区画の中心線で囲まれた部分に収容されている物をいう。

(2) 林野火災

森林、原野又は牧野が焼損した火災をいう。

(3) 車両火災

自動車車両、鉄道車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。

(4) 船舶火災

船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。

(5) 航空機火災

航空機又はその積載物が焼損した火災をいう。

(6) その他の火災

(1)から(5)までに掲げる火災以外の火災（空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、屋外物品集積場、軌道敷、電柱類等の火災）をいう。

4 爆 発

人の意図に反して発生し又は拡大した爆発現象をいう。

5 焼損の程度

建物一棟の焼損程度の区分基準は、次のとおりである。

(1) 全 焼

建物の焼き損害額が火災前建物評価額の70%以上のもの又はこれ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないものをいう。

(2) 半 焼

建物の焼き損害額が火災前建物評価額の20%以上のもので全焼に該当しないものをいう。

(3) 部 分 焼

建物の焼き損害額が火災前建物評価額の20%未満のものでぼやに該当しないものをいう。

(4) ぼ や

建物の焼き損害額が火災前建物評価額の10%未満であり焼損床面積が1平方メートル未満のもの、建物の焼き損害額が火災前建物評価額の10%未満であり焼損表面積が1平方メートル未満のもの又は収容物のみ焼損したものをいう。

6 建物の焼損面積

(1) 焼損床面積

建物の焼損が立体的に及んだ場合は、焼損したことによって機能が失われた部分の床面積を平方メートルで表す。

(2) 焼損表面積

建物の焼損が部分的である場合は、内壁、天井、床板等部分的なものを平方メートルで表す。

7 り災世帯

り災世帯は、次のとおり区分する。

(1) 全 損

建物（収容物を含む。以下この項において同じ。）の火災損害額が火災前建物評価額の70%以上のものをいう。

(2) 半 損

建物の火災損害額が火災前建物評価額の20%以上で、全損に該当しないものをいう。

(3) 小 損

建物の火災損害額が火災前建物評価額の20%未満のものをいう。

8 死 者

火災現場において火災に直接起因して死亡した者（病死者を除く。）又は火災により負傷した後 48 時間以内に死亡した者。

9 そ の 他

(1) 全国数値は、「平成 19 年版 消防白書」による確定数である。

(2) 第 1 表と第 6 表の損害額は集計方法が異なる。

区 分	第 1 表	附 表 第 1
建 物	建物火災による損害額 + 建物火災（爆発）による損害額	建物火災による損害額
林 野	林野火災による損害額 + 林野火災（爆発）による損害額	林野火災による損害額
車 両	車両火災による損害額 + 車両火災（爆発）による損害額	車両火災による損害額
船 舶	船舶火災による損害額 + 船舶火災（爆発）による損害額	船舶火災による損害額
航空機	航空機火災による損害額 + 航空機火災（爆発）による損害額	航空機火災による損害額
その他	その他の火災による損害額 + その他の火災（爆発）による損害額	その他の火災による損害額
爆 発		建物，林野，車両，船舶，航空機， その他の火災（爆発）による損害額

(3) 市町別火災発生状況の集計は，平成 18 年中にある行政区域で行った。

*は平成 18 年に合併した市町村で，合併前までの数値を計上。

第9 火災概況

1 火災概況

平成18年中における広島県内の火災概況は、第1表のとおりである。1,296件の火災が発生し、損害額24億1,899万円、死者53人、負傷者220人、焼損棟数1,100棟、建物焼損床面積31,015㎡、建物焼損表面積5,394㎡、林野火災面積13,269a、り災世帯数793世帯で、出火率は4.5であった。

出火原因別では、「こんろ」「たばこ」「放火」の順となっており、この3つで全体の36%を占める。

第1表 平成18年の火災と前年比較

区分	単位	平成18年 A	平成17年 B	増減 A-B	増減率 $\frac{(A-B)}{B} \times 100$	全 国		
						平成18年	増減	増減率
出火件数	件	1,296	1,364	△68	△5.0	53,276	△4,184	△7.3
建物	件	756	737	19	2.6	31,506	△1,543	△4.7
林野	件	78	102	△24	△23.5	1,576	△639	△28.8
車両	件	156	168	△12	△7.1	6,243	△387	△5.8
船舶	件	3	7	△4	△57.1	102	△22	△17.7
航空機	件	0	0	—	—	1	△5	△83.3
その他	件	303	350	△47	△13.4	13,848	△1,588	△10.3
焼損棟数	棟	1,100	1,645	△545	△33.1	42,612	△3,576	△7.7
全焼	棟	231	814	△583	△71.6	—	—	—
半焼	棟	71	67	4	6.0	—	—	—
部分焼	棟	356	345	11	3.2	—	—	—
ぼや	棟	442	419	23	5.5	—	—	—
建物焼損床面積	㎡	31,015	33,404	△2,389	△7.2	1,386,092	△116,689	△7.8
建物焼損表面積	㎡	5,394	4,926	468	9.5	143,185	△12,114	△7.8
林野焼損面積	a	13,269	1,376	11,893	864.3	82,925	△28,660	△25.7
死者	人	53	63	△10	△15.9	2,067	△128	△5.8
負傷者	人	220	187	33	17.6	8,541	△309	△3.5
り災世帯数	棟	793	723	70	9.7	29,144	△808	△2.7
全損	棟	157	164	△7	△4.3	—	—	—
半損	棟	50	49	1	2.0	—	—	—
小損	棟	586	510	76	14.9	—	—	—
損害額	千円	2,418,988	2,278,290	140,698	6.2	114,228,906	△15,869,699	△12.2
建物	千円	2,300,316	2,137,769	162,547	7.6	—	—	—
林野	千円	6,990	1,226	5,764	470.1	—	—	—
車両	千円	67,656	78,979	△11,323	△14.3	—	—	—
船舶	千円	17,033	11,100	5,933	53.5	—	—	—
航空機	千円	0	0	—	—	—	—	—
その他	千円	26,993	49,216	△22,223	△45.2	—	—	—
出火率 (人口1万人当たり)	—	4.5	4.8	0.0	—	4.2	△0.3	—

1日当たりの火災被害は、第2表のとおりである。

県内のどこかで、6時間39分（前年6時間25分）に1件の割合で火災が発生し、32時間（前年35時間2分）に1人の割合で死傷者が発生し、毎日664万円（前年624万円）の財産が焼失したことになる。

第2表 1日当たりの火災被害

区分	単位	平成18年	平成17年
出火件数	件	3.6	3.7
損害額	千円	6,637	6,242
建物焼損棟数	棟	3.0	4.5
建物焼損床面積	m ²	85.0	91.5
林野焼損面積	a	36.4	3.8
り災世帯数	世帯	2.2	2.0
死者	〃	0.15	0.17
負傷者	〃	0.60	0.51

2 出火件数

出火件数を火災種類別にみると、全火災に対する構成比は第3表のとおりである。建物火災が全火災の58.3%で全体の過半数を占めている。

第3表 火災種類別出火件数の構成割合

区分	平成18年		平成17年		全国(平成17年)	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
建物火災	756	58.3	737	54.0	31,506	59.1
住宅	(325)	(25.1)	(308)	(22.6)	(11,996)	(22.5)
共同住宅	(127)	(9.8)	(99)	(7.3)	(5,342)	(10.0)
複合用途(特定)	(66)	(5.1)	(51)	(3.7)	(2,334)	(4.4)
倉庫	(24)	(1.9)	(31)	(2.3)	(525)	(1.0)
工場	(44)	(3.4)	(55)	(4.0)	(2,048)	(3.8)
複合用途(非特定)	(24)	(1.9)	(38)	(2.8)	(1,085)	(2.0)
併用住宅	(16)	(1.2)	(30)	(2.2)	(990)	(1.9)
飲食店	(14)	(1.1)	(9)	(0.7)	(587)	(1.1)
物品店舗	(15)	(1.2)	(6)	(0.4)	(490)	(0.9)
その他	(101)	(7.8)	(110)	(8.1)	(6,109)	(11.5)
林野火災	78	6.0	102	7.5	1,576	3.0
車両火災	156	12.0	168	12.3	6,243	11.7
船舶火災	3	0.2	7	0.5	102	0.2
航空機火災	0	—	—	—	1	0.0
その他火災	303	23.4	350	25.7	13,848	26.0
合計	1,296	100	1,364	100	53,276	100

出火件数を四季別にみると、春季が最も多く 31.7% 占め、次いで冬季、夏季、秋季の順となっている。

第 4 表 四季別出火件数

年別 季節別	平成 18 年				平成 17 年			
	出火件数(件)	割合	損害額(千円)	割合	出火件数(件)	割合	損害額(千円)	割合
春季(3～5月)	385	29.7%	768,805	31.7%	441	32.3%	589,362	25.9%
夏季(6～8月)	262	20.2%	650,497	26.9%	313	22.9%	414,779	18.2%
秋季(9～11月)	276	21.3%	349,062	14.4%	262	19.2%	487,193	21.4%
冬季(12～2月)	373	28.8%	654,196	27.0%	348	25.5%	786,956	34.5%
計	1,296	100.0%	2,422,560	100.0%	1,364	100.0%	2,278,290	100.0%

また、本県の出火率（人口 1 万人当たりの出火件数）は、4.5 で、全国平均を下回った。

（広島県：全国 19 位 全国 1 位：鹿児島県 6.2 最下位：富山県 1.9）

3 損害額

平成 18 年中における火災による損害額は、24 億 2,256 万円（爆発を含む）で、前年より 1 億 4,427 万円減少した。

この損害額は、県民 1 人当たりでは 843 円（前年 794 円）、1 日当たりでは 663 万円（前年 624 万円）、火災 1 件当たりでは 186 万円（前年 167 万円）となっている。

過去 10 年間の火災による損害額の推移をみると第 5 表のとおりである。

第 5 表 損害額の推移

区分 年別	損害額(千円)	左の指数	1件当たりの 損害額(千円)	左の指数
9	3,207,664	100	1,957	100
10	2,144,935	67	1,428	73
11	2,619,832	82	1,720	88
12	3,345,870	104	2,201	112
13	3,831,398	119	2,359	121
14	2,921,520	91	1,799	92
15	2,072,555	65	1,623	83
16	5,857,980	183	4,330	221
17	2,278,290	71	1,670	85
18	2,422,560	76	1,869	96

平成 9 年=100

次に火災による損害額を火災種類別にみると第6表のとおりであり、建物火災が全体の95.0%と大部分を占めている。

第6表 火災種類別損害状況

区 分	損害額(千円)	割合	1件当たりの損害額(千円)
建 物 火 災	2,300,316	95.0%	3,043
林 野 火 災	6,990	0.3%	90
車 両 火 災	67,656	2.8%	434
船 舶 火 災	17,033	0.7%	5,678
航 空 機 火 災	0	0.0%	—
そ の 他 火 災	26,993	1.1%	89
爆 発	3,572	0.1%	—
計	2,422,560	100.0%	1,869

4 出火原因

平成18年中において発生した火災は1,296件のうち失火が746件(54.7%)となっており、火災の多くは火気の手配の不注意や不始末から発生している。

第7表 出火原因別出火件数

区 分	平 成 18 年		平 成 17 年	
	出火件数	割合(%)	出火件数	割合(%)
失 火	746	54.7%	761	55.8%
放火・放火の疑い	228	16.7%	247	18.1%
火 あ そ び	71	5.2%	69	5.1%
自然発火・再燃	33	2.4%	30	2.2%
天 災	0	0.0%	0	0.0%
不 明	218	16.0%	257	18.8%
計	1,296	100.0%	1,364	100.0%

出火原因別では、こんろ（172件、13.4%）が一番多く、以下、たばこ（150件、11.6%）、放火（140件、10.8%）たき火（97件、7.5%）の順になっている。

なお、「放火」と「放火の疑い」を合わせると228件で全体の17.6%となっている。

第8表 出火原因別出火件数

広島県						全国					
平成18年			平成17年			平成18年			平成17年		
原因	件数	構成比	原因	件数	構成比	原因	件数	構成比	原因	件数	構成比
こんろ	174	13.4%	たばこ	172	13.3%	放火	6,649	12.5%	放火	7,225	13.6%
たばこ	150	11.6%	たき火	162	12.5%	こんろ	5,990	11.2%	こんろ	6,026	11.3%
放火	140	10.8%	放火	161	12.4%	たばこ	5,135	9.6%	たばこ	5,914	11.1%
たき火	97	7.5%	こんろ	142	11.0%	放火の疑い	4,619	8.7%	放火の疑い	5,039	9.5%
放火の疑い	88	6.8%	放火の疑い	86	6.6%	たき火	2,630	4.9%	たき火	3,380	6.3%
火あそび	71	5.5%	火あそび	69	5.3%	ストーブ	1,927	3.6%	ストーブ	2,025	3.8%
ストーブ	50	3.9%	ストーブ	60	4.6%	火遊び	1,825	3.4%	火遊び	1,918	3.6%
火入れ	37	2.9%	排気管	37	2.9%	電灯電話等の配線	1,475	2.8%	電灯電話等の配線	1,512	2.8%
電気機器	33	2.5%	配線器具	26	2.0%	火入れ	1,225	2.3%	火入れ	1,272	2.4%
電灯電話等の配線	31	2.4%	火入れ	24	1.9%	配線器具	1,100	2.1%	配線器具	1,122	2.1%
その他(不明調査中含む)	425	32.8%	その他(不明調査中含む)	425	32.8%	その他(不明調査中含む)	20,701	38.9%	その他(不明調査中含む)	22,027	41.3%
計	1,296	100.0%	計	1,364	105.2%	計	53,276	100.0%	計	57,460	107.9%

5 死者・負傷者

平成18年中には、火災により53人の尊い人命が失われた。これは、前年の63人に比べ10人(15.9%)減少した。

また、負傷者は220人となっており、前年の187人と比べ33人(17.6%)増加した。

過去10年間の火災による死傷者の推移は、第9表のとおりである。

第9表 火災による死傷者数の推移

(平成9年＝指数100)

区分	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
死者	51	36	48	42	56	55	51	47	63	53
指数	100	71	94	82	110	108	100	92	124	104
負傷者	184	188	187	198	158	208	179	192	187	220
指数	100	102	102	108	86	113	97	104	102	120

火災による死者の火災種類別及び死因別の区分は、第10表のとおりである。

火災種類別では、建物火災による死者が39人で全体の73.6%を占めており、前年の46人より4人減少した。

また、死因別では火傷が24人で全体の45.3%を占め、次に自殺が16人(30.2%)と続いている。

第10表 火災による死傷者数の推移

(平成18年中)

火災種類	死因	一酸化炭素中毒	火傷	打傷	骨折	撲等	自殺	その他	不明	計	火災種類別構成比(%)
建物		9	21				7		2	39	73.6%
林野								1	1	2	3.8%
車両			1				5			6	11.3%
船舶											
航空機											
その他			2				4			6	11.3%
計		9	24				16	1	3	53	100.0%
死因別構成比(%)		17.0%	45.3%				30.2%	1.9%	5.7%	100.0%	

火災による死者の四季別・月別発生状況は、第11表のとおりである。

第11表 四季別・月別死者発生状況

(平成18年中)

区分	春季			夏季			秋季			冬季			計
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
死者(人)	3	7	3	0	3	2	1	4	6	9	7	8	53
	13			5			11			24			
割合	5.7%	13.2%	5.7%	0.0%	5.7%	3.8%	1.9%	7.5%	11.3%	17.0%	13.2%	15.1%	100.0%

火災による死者の死に至った経過及び死者の年齢については、第 12 表のとおりである。

死に至った経過では、逃げ遅れが原因の者が 24 人で、死者全体の 45.3%を占めている。その他の経過としては、放火自殺（自殺の巻添えを含む）が 17 人（32.0%）、その他 12 人（22.6%）となっている。

死者の年齢については、61 歳以上 70 歳までが 14 人（26.4%）と最も多く、次いで 71 歳以上 80 歳までが 13 人（24.5%）、81 歳以上 11 人（20.8%）の順となっている。また、51 歳以上による死者が 44 人と全体の 83.0%を占める。

第12表 経過別・年齢別死者の状況

(平成18年中)

死者の発生した経過			年 齢											計	
区分	経過別	理由別	0 ～ 5	6 ～ 10	11 ～ 20	21 ～ 30	31 ～ 40	41 ～ 50	51 ～ 60	61 ～ 70	71 ～ 80	81 ～	不 明		
殺人・ 自損行為による死者 （心中の道づれ・ 巻添を含む） 以外の死者	A 発見が遅れ、気づいた時は火煙が回りすでに逃げ道がなかったと思われるもの（全く気づかなかった場合を含む）。	(発見が遅れた理由) 睡				1		2			3			6	
		泥								1				1	
		病 気 ・ 身 体 不 自 由													
		そ の 他									1		1		2
	B 判断力に欠けあるいは体力的条件が悪く、ほとんど避難できなかったと思われるもの。	(判断力・体力的条件の要素) 5歳以下の乳幼児	1												1
		泥													
		病 気 ・ 身 体 不 自 由										2			2
		老 衰													
	C 延焼拡大が早かった等のため、ほとんど避難できなかったと思われるもの。	(逃げる暇がなかった理由) ガス爆発のため													
		危険物燃焼のため								1					1
		そ の 他													
		(逃げる機会を失った理由) 狼狽して													
	D 逃げれば逃げられたが、逃げる機会を失ったと思われるもの。	持出品・服装に気を取られ													
		火災に触れ回っているうちに													
		消 火 し よ う と し て									1				1
人 を 救 助 し よ う と し て															
E 避難行動を起こしているが、逃げ切れなかったと思われるもの（一応自力避難したが、避難中、火傷、ガス吸引し病院等で死亡した場合を含む）。	(逃げ切れなかった理由) 身体不自由のため								1	1		2		4	
	延 焼 拡 大 が 早 く														
	逃 げ 道 を 間 違 え て														
	出 入 口 施 錠 の た め														
F 一旦屋外避難後再進入したと思われるもの。	(進入した理由) 救助・物品搬出のため									1				1	
	消 火 の た め														
G 出火時屋外に出て出火後進入したと思われるもの。	そ の 他														
	(着衣着火時の状況) 喫 煙 中														
H 着衣着火、火傷(熱傷)あるいはガス中毒により死亡したと思われるもの。	炊 事 中														
	採 暖 中 (たき火を除く)														
	た き 火 中														
	火 あ そ び 中														
	そ の 他 火 気 取 扱 中									1	2	1		4	
I 放火自殺(心中の道づれを含む)	そ の 他														
	J 放火自殺の巻添者(心中の道づれを除く)							5	3	6	1	1		16	
	K 放火殺人の犠牲者											1		1	
その他	L A～K以外の経過等									1	2	1		4	
	M 不 明	N 調 査 中							1	1	3	3		8	
計			1			1		7	6	14	13	11		53	
年 齢 構 成 比 (%)			1.9%			1.9%		13.2%	11.3%	26.4%	24.5%	20.8%		100.0%	

6 平成 18 年中の火災の特色

広島県の火災件数は、平成 14 年まで 1,500～2,000 件の間で推移してきたが、平成 15 年は 1,277 件、16 年 1,353 件、17 年 1,364 件、18 年 1,296 件と 1,500 件を割った。過去 10 年間の出火件数と出火率（人口 1 万人当たり）の推移は、第 7 表のとおりである。

本県では「放火」等が、長く出火原因の 1 位を占めてきたが、平成 17 年は「たばこ」、平成 18 年は「こんろ」が 1 位となった。放火による出火件数は、前年に比べ 21 件（13.0%）減少し、全体に占める割合は 10.8%（前年 11.8%）となった。（第 8 表参照）

また本県は、林野火災の発生件数が多いという特色がある。平成 18 年は 78 件で、全国第 3 位（前年 第 3 位）と依然上位を占めている。

第 13 表 出火件数・出火率の推移

区分		年									
		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
広島県	出火件数	1,639	1,502	1,523	1,520	1,624	1,624	1,277	1,353	1,364	1,296
	出火率	5.7	5.2	5.3	5.3	5.7	5.7	4.4	4.7	4.8	4.5
全国	出火件数	61,889	54,514	58,526	62,454	63,591	63,575	56,329	60,387	57,460	53,276
	出火率	4.9	4.3	4.7	5.0	5.0	5.0	4.4	4.8	4.5	4.2

第 14 表 「放火」「放火の疑い」による火災発生の推移

区分		年									
		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
広島県	全出火件数	1,639	1,502	1,523	1,520	1,624	1,624	1,277	1,353	1,364	1,296
	放火	177	161	143	149	247	265	202	173	161	140
	構成比(%)	10.8%	10.7%	9.4%	9.8%	15.2%	16.3%	15.8%	12.8%	11.8%	10.8%
	放火の疑い	158	154	127	125	129	171	75	95	86	88
	構成比(%)	9.6%	10.3%	8.3%	8.2%	7.9%	10.5%	5.9%	7.0%	6.3%	6.8%
全国	全出火件数	61,889	54,514	58,534	62,454	63,591	63,651	56,333	63,387	57,460	53,276
	放火	7,222	7,294	7,482	7,817	8,120	8,216	8,354	8,210	7,225	6,649
	構成比(%)	11.7%	13.4%	12.8%	12.5%	12.8%	12.9%	14.8%	13.0%	12.6%	12.5%
	放火の疑い	5,654	5,173	5,357	6,035	6,288	6,337	5,707	5,796	5,039	4,619
	構成比(%)	9.1%	9.5%	9.2%	9.7%	9.9%	10.0%	10.1%	9.1%	8.8%	8.7%

7 過年度特記火災事例

過去10年間に県内で発生した火災のうち3名以上死者の発生した火災は、第15表のとおりである。
また、20ha以上焼損した林野火災は、第16表のとおりである。

第15表 3名以上死者の出た火災

出火日時	出火場所	種別	火災原因	死者
8年4月16日 8時35分	安芸郡江田島町小用五丁目	建物	不明	3
9年4月10日 2時44分	広島市安佐北区口田南二丁目	建物 (爆発)	不明	3
12年10月28日 23時30分	御調郡向島町	建物	放火	3
13年1月17日 3時28分	広島市西区己斐大迫一丁目	建物	不明	3

第9-1表 火災総括表

区分 月	出火件数							焼損棟数					り災世帯数				り災者		
	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計	全 損	半 損	小 損	計	り 災 人 員	死 者	負 傷 者
1	89	17	10	1		29	146	23	8	46	51	128	15	6	63	84	233	7	34
2	65	2	10			22	99	24	5	27	37	93	20	6	49	75	174	8	14
3	84	5	10			40	139	20	14	32	50	116	16	8	59	83	174	3	23
4	77	23	16			25	141	28	4	43	40	115	19	4	60	83	177	7	23
5	60	10	13			22	105	24	6	27	28	85	13	2	46	61	151	3	23
6	46	2	11			16	75	13	2	21	31	67	6	2	35	43	110		12
7	50		19			9	78	8	5	16	31	60	5	4	31	40	114	3	13
8	66	1	16			26	109	19	3	35	32	89	16	3	65	84	235	2	11
9	36	2	12	2		23	75	7	5	20	20	52	6	3	31	40	104	1	16
10	45	4	13			40	102	23	2	18	34	77	6	3	23	32	90	4	13
11	62	5	7			25	99	19	5	26	37	87	12	5	44	61	153	6	14
12	76	7	19			26	128	23	12	45	51	131	23	4	80	107	239	9	24
計	756	78	156	3		303	1,296	231	71	356	442	1,100	157	50	586	793	1,954	53	220
構成比	58.3%	6.0%	12.0%	0.2%		23.4%	100%	21.0%	6.5%	32.4%	40.2%	100%	19.8%	6.3%	73.9%	100%			

平成17	737	102	168	7		350	1,364	814	67	345	419	1,645	164	49	510	723	1,804	63	187
16	704	144	153	5		347	1,353	229	59	313	397	998	184	38	519	741	1,758	47	192
15	700	91	168	8		310	1,277	182	55	336	384	957	106	44	479	629	1,548	51	179
14	817	191	156	1		459	1,624	279	80	397	407	1,163	167	45	537	749	1,856	51	208
13	871	146	187	6		414	1,624	260	93	427	434	1,214	171	61	571	803	2,027	56	158
12	836	115	187	6		376	1,520	286	78	396	431	1,191	170	45	534	749	1,937	42	198
11	840	121	182	9		371	1,523	217	90	398	435	1,140	151	65	546	762	2,017	48	187
10	834	137	173	12		346	1,502	198	87	428	403	1,116	133	54	512	699	1,893	36	188
9	871	188	154	8		418	1,639	286	72	475	394	1,227	155	47	564	766	2,137	51	184
8	874	186	151	9		497	1,717	282	79	484	378	1,223	162	56	623	841	2,346	52	230
7	871	233	172	6		529	1,811	275	118	452	416	1,261	178	74	562	814	2,274	42	149
6	867	325	155	8	1	639	1,995	317	106	893		1,316	210	62	663	935	2,618	49	204
5	786	247	142	9		384	1,568	235	80	797		1,112	135	39	521	695	1,966	34	171
4	819	191	136	5		424	1,575	257	108	828		1,193	148	49	497	694	2,060	45	127
3	897	170	139	5		372	1,583	264	96	913		1,273	172	58	597	827	2,348	33	138
2	922	179	158	11		423	1,693	301	94	901		1,296	198	59	636	893	2,581	68	193
元	932	222	155	10		425	1,744	289	118	957		1,364	191	68	609	868	2,581	57	179
昭和63	999	257	151	4		445	1,856	260	137	1,033		1,430	198	76	743	1,017	2,979	57	207
62	932	221	111	2		420	1,686	301	100	925		1,326	219	62	663	944	2,823	46	168
61	964	310	106	9		515	1,904	317	114	955		1,386	206	53	678	937	2,926	49	197
60	922	275	92	4		441	1,734	312	114	910		1,336	220	71	672	963	3,003	38	186
59	945	269	95	9		519	1,837	300	126	924		1,350	208	82	655	945	2,864	41	219
58	907	223	115	6		419	1,670	288	122	886		1,296	197	73	633	903	2,863	46	177
57	883	272	109	17		445	1,726	272	115	807		1,194	190	67	553	810	2,521	47	192
56	946	153	85	12	1	367	1,564	284	109	851		1,244	214	71	604	889	2,753	41	177

年	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38
出火件数	1,608	1,749	2,105	1,773	1,560	1,627	1,926	1,862	1,357	1,561	1,380	1,272	1,096	1,266	1,031	1,172	1,139	1,190

(注) 焼損棟数のうち「ぼや」、負傷者のうち「30日死者」、損害額のうち「爆発」、焼損面積のうち「建物表面積」、爆発の「損害棟数」、

(平成18年中)

損 害 見 積 額 (千円)								焼損面積			
爆 発 を 除 く							爆 発	計	建物 (㎡)		林 野 (a)
建 物	収 容 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他			床 面 積	表 面 積	
156,456	66,579	4,876	1,867	16,740		373	569	247,460	2,964	437	11,949
115,074	55,092		854			1,021		172,041	2,553	356	9
150,389	68,387		2,850			1,692	2,999	226,317	2,492	366	12
210,998	92,720	471	16,799			1,927		322,915	3,942	632	267
117,529	98,338	38	3,069			599		219,573	3,354	1,549	224
47,609	17,889	1,598	7,215			258		74,569	1,412	136	738
171,725	95,495		13,257			52		280,529	1,493	105	
189,546	95,007		4,209			6,637		295,399	3,416	527	2
41,927	33,081		6,761	293		5,303		87,365	742	242	1
69,709	36,524	5	6,051			1,889	4	114,182	3,519	139	9
78,213	58,711		3,553			7,038		147,515	1,892	296	33
164,629	68,689	2	1,171			204		234,695	3,236	609	25
1,513,804	786,512	6,990	67,656	17,033		26,993	3,572	2,422,560	31,015	5,394	13,269
62.5%	32.5%	0.3%	2.8%	0.7%		1.1%	0.1%	100%			

1,274,413	863,354	1,226	78,979	11,100		49,216	2	2,278,290	33,404	4,926	1,376
2,147,051	3,467,172	108,417	58,504	1,209		39,547	36,080	5,857,980	41,047	11,967	43,041
1,037,488	826,609	1,884	56,378	116,116		32,127	1,953	2,072,555	22,536	3,998	1,671
1,561,201	1,227,086	8,754	63,547	44		60,410	478	2,921,520	38,543	5,440	7,542
1,781,931	1,955,835	2,453	64,029	1,697		25,403	50	3,831,398	45,133	6,762	2,321
2,056,396	1,090,433	67,919	73,527	196		48,442	8,957	3,345,870	41,748	5,299	8,016
1,235,125	1,203,425	38,955	100,653	5,672		23,766	12,236	2,619,832	33,209	4,414	16,948
1,161,667	810,686	19,223	76,318	27,517		47,428	2,096	2,144,935	28,846	4,102	4,740
1,747,668	1,280,108	46,224	68,477	7,002		57,197	988	3,207,664	34,773	4,514	40,182
1,553,618	1,241,709	19,252	77,885	4,374		75,818	601,143	3,573,799	35,571	4,953	5,855
1,444,788	1,227,250	7,558	73,250	19,362		42,573	13,398	2,828,179	39,237	5,635	19,966
1,638,817	1,959,932	566,374	128,014	3,838	45,958	40,202		4,383,135	45,396		49,696
1,165,062	1,041,986	195,675	122,484	27,909		100,778		2,653,894	28,102		34,163
1,477,042	1,373,707	9,664	70,813	18,683		18,483		2,968,392	36,298		2,898
1,442,314	1,325,931	5,139	45,573	4,271		32,188		2,855,416	35,603		5,573
1,307,681	1,348,489	4,927	138,507	36,418		30,844		2,866,866	39,752		6,216
1,506,788	1,345,746	6,485	89,948	2,528		78,138		3,029,633	41,534		6,259
1,371,129	1,628,667	46,579	49,742	56,295		46,147		3,198,559	40,258		22,455
1,169,896	1,074,908	10,755	421,535	13,148		14,392		2,704,634	42,569		5,196
1,449,399	1,351,497	66,056	29,194	45,079		59,439		3,000,664	45,567		38,771
1,309,215	1,377,937	21,749	28,680	6,597		12,103		2,756,281	38,394		13,420
1,465,517	1,357,285	95,790	28,109	1,485		11,032		2,959,218	46,762		48,130
1,277,865	1,478,406	50,058	34,965	1,691		88,699		2,931,684	42,879		17,008
1,053,453	956,394	14,965	16,337	5,066		14,096		2,060,311	36,797		9,402
1,113,795	996,866	24,524	21,996	12,327		66,108		2,235,616	38,071		14,199

「車両等数」については、平成7年から統計項目となった。

第9-2表 平成18年中の出火原因別火災件数

全 火 災			建 物			林 野			車
原 因	件 数	割 合	原 因	件 数	割 合	原 因	件 数	割 合	原 因
こ ん ろ	174	13.4%	こ ん ろ	170	22.5%	た き 火	28	35.9%	排 気 管
た ば こ	150	11.6%	た ば こ	89	11.8%	放 火 の 疑 い	18	23.1%	放 火
放 火	140	10.8%	放 火	79	10.4%	た ば こ	7	9.0%	交 通 機 関 内 線 配
た き 火	97	7.5%	ス ト ー ブ	50	6.6%	火 入 れ	7	9.0%	放 火 の 疑 い
放 火 の 疑 い	88	6.8%	放 火 の 疑 い	29	3.8%	火 あ そ び	4	5.1%	内 燃 機 関
火 あ そ び	71	5.5%	配 線 器 具	28	3.7%	放 火	2	2.6%	マ ッ チ ・ ラ イ タ ー
ス ト ー ブ	50	3.9%	火 あ そ び	25	3.3%	マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	1	1.3%	電 気 機 器
火 入 れ	37	2.9%	電 灯 電 話 等 の 配 線	23	3.0%	焼 却 炉	1	1.3%	衝 突 の 火 花
電 気 機 器	33	2.5%	電 気 機 器	22	2.9%	灯 火	1	1.3%	た ば こ
電 灯 電 話 等 の 配 線	31	2.4%	マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	17	2.2%	煙 突 ・ 煙 道	1	1.3%	火 あ そ び
配 線 器 具	31	2.4%	灯 火	14	1.9%	取 灰	1	1.3%	配 線 器 具
排 気 管	29	2.2%	た き 火	13	1.7%				電 気 装 置
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	28	2.2%	溶 接 機 ・ 切 断 機	11	1.5%				
焼 却 炉	17	1.3%	煙 突 ・ 煙 道	10	1.3%				
灯 火	17	1.3%	焼 却 炉	8	1.1%				
不 明 ・ 調 査 中	92	7.1%	不 明 ・ 調 査 中	63	8.3%	不 明 ・ 調 査 中	3	3.8%	不 明 ・ 調 査 中
そ の 他	211	16.3%	そ の 他	105	13.9%	そ の 他	4	5.1%	そ の 他
計	1,296	100.0%	計	756	100.0%	計	78	100.0%	計

両		船 舶			航 空 機			そ の 他		
件数	割合	原 因	件数	割合	原 因	件数	割合	原 因	件数	割合
27	17.3%	こ ん ろ	2	66.7%				た き 火	56	18.5%
21	13.5%	電 気 機 器	1	33.3%				た ば こ	49	16.2%
16	10.3%							放 火	38	12.5%
10	6.4%							火 あ そ び	38	12.5%
7	4.5%							放 火 の 疑 い	31	10.2%
7	4.5%							火 入 れ	24	7.9%
6	3.8%							電 灯 電 話 等 の 配 線	8	2.6%
6	3.8%							焼 却 炉	8	2.6%
5	3.2%							溶 接 機 ・ 切 断 機	5	1.7%
4	2.6%							電 気 機 器	4	1.3%
2	1.3%							マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	3	1.0%
2	1.3%							こ ん ろ	2	0.7%
								灯 火	2	0.7%
								取 灰	2	1.3%
								衝 突 の 火 花	2	1.3%
10	6.4%	不 明 ・ 調 査 中						不 明 ・ 調 査 中	16	10.3%
33	21.2%	そ の 他						そ の 他	15	9.6%
156	100.0%	計	3	100.0%				計	303	100.0%

第9-3表 出火原因別火災件数の推移

平成12年			平成13年			平成14年			平成15年
原因	件数	割合	原因	件数	割合	原因	件数	割合	原因
たばこ	184	12.1%	放火	247	15.2%	放火	265	16.3%	放火
放火	149	9.8%	たばこ	202	12.4%	たばこ	171	10.5%	たばこ
放火の疑い	125	8.2%	放火の疑い	129	7.9%	放火の疑い	171	10.5%	たき火
たき火	113	7.4%	たき火	117	7.2%	たき火	110	6.8%	火あそび
プロパンガス テーブル	80	5.3%	火あそび	107	6.6%	火あそび	106	6.5%	放火の疑い
火あそび	96	6.3%	プロパンガス テーブル	66	4.1%	プロパンガス テーブル	56	3.4%	プロパンガス テーブル
都市ガス テーブル	50	3.3%	都市ガス テーブル	52	3.2%	都市ガス テーブル	54	3.3%	都市ガス テーブル
枯れ草焼き	45	3.0%	枯れ草焼き	44	2.7%	枯れ草焼き	39	2.4%	石油・ガソリン ストーブ (開放式)
排気管	29	1.9%	石油・ガソリン ストーブ (開放式)	27	1.7%	石油・ガソリン ストーブ	31	1.9%	枯れ草焼き
ライター	22	1.4%	プロパンガス コンロ	24	1.5%	直接雷	25	1.5%	排気管
石油・ガソリン ストーブ (開放式)	21	1.4%	排気管	24	1.5%	排気管	22	1.4%	プロパンガス こんろ
交通機関内 配線(その他)	19	1.3%	ライター	20	1.2%	ライター	20	1.2%	たき火の 火の粉
虫焼火	17	1.1%	交通機関内 配線(その他)	19	1.2%	交通機関内 配線(その他)	19	1.2%	ライター
たき火の 火の粉	16	1.1%	火のついたゴミ	19	1.2%	火のついた ゴミ	15	0.9%	電気ストーブ・ 火鉢 (開放式)
電気ストーブ・ 火鉢(開放式)	15	1.0%	ゴミ焼却炉	17	1.0%	その他の裸 火	15	0.9%	交通機関内 配線(その他)
不明 (調査中)	110	7.2%	不明 (調査中)	102	6.3%	不明 (調査中)	98	6.0%	不明 (調査中)
上記以外	429	28.2%	上記以外	408	25.1%	上記以外	407	25.1%	上記以外
計	1,520	100.0%	計	1,624	100.0%	計	1,624	100.0%	計

5 年		平成 16 年		平成 17 年		平成 18 年				
件数	割合	原因	件数	割合	原因	件数	割合	原因	件数	割合
205	16.1%	放 火	173	12.8%	た ば こ	172	12.6%	こ ん ろ	174	13.4%
134	10.5%	た き 火	154	11.4%	た き 火	162	11.9%	た ば こ	150	11.6%
110	8.6%	た ば こ	135	10.0%	放 火	161	11.8%	放 火	140	10.8%
78	6.1%	こ ん ろ	132	9.8%	こ ん ろ	142	10.4%	た き 火	97	7.5%
74	5.8%	放火の疑い	95	7.0%	放火の疑い	86	6.3%	放火の疑い	88	6.8%
53	4.2%	火あそび	72	5.3%	火あそび	69	5.1%	火あそび	71	5.5%
40	3.1%	ストーブ	41	3.0%	ストーブ	60	4.4%	ストーブ	50	3.9%
27	2.1%	火入れ	36	2.7%	排気管	37	2.7%	火入れ	37	2.9%
26	2.0%	電灯電話等の配線	33	2.4%	交通機関内線配	28	2.1%	電気機器	33	2.5%
25	2.0%	電気機器	30	2.2%	配線器具	26	1.9%	電灯電話等の配線	31	2.4%
22	1.7%	排気管	24	1.8%	火入れ	24	1.8%	配線器具	31	2.4%
20	1.6%	交通機関内線配	24	1.8%	電気機器	21	1.5%	排気管	29	2.2%
20	1.6%	マッチ・ライター	23	1.7%	マッチ・ライター	21	1.5%	マッチ・ライター	28	2.2%
16	1.3%	溶接機・切断機	22	1.6%	溶接機・切断機	20	1.5%	焼却炉	17	1.3%
15	1.2%	配線器具	19	1.4%	電灯電話等の配線	19	1.4%	灯 火	17	1.3%
85	6.7%	不明 (調査中)	89	6.6%	不明・調査中	82	6.0%	不明・調査中	92	7.1%
327	25.6%	上記以外	251	18.6%	上記以外	234	17.2%	その他	211	16.3%
1,277	100.0%	計	1,353	100.0%	計	1,364	100.0%	計	1,296	100.0%

第9-4表 市町村別火災発生状況

区分 市町村名	出火件数							焼損棟数					り災世帯数				り災者		
	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	計	全 焼	半 焼	部 焼	ぼ や	計	全 損	半 損	小 損	計	り 災 人 員	死 者	負 傷 者
広島市	317	2	43			119	481	42	25	102	233	402	50	20	293	363	855	21	101
(中区)	73		12			18	103	3	3	21	56	83	8	2	82	92	197	6	18
(東区)	27		4			7	38	2	3	6	22	33	3	1	19	23	50	1	8
(南区)	41		6			18	65	6	5	14	34	59	9	8	30	47	92	4	12
(西区)	50		4			13	67	4	2	16	39	61	6	2	52	60	158	1	23
(安佐南区)	49	2	6			18	75	17	5	19	33	74	13	2	56	71	180	4	14
(安佐北区)	40		5			23	68	8	4	14	23	49	8	3	23	34	85	2	12
(安芸区)	21		1			7	29	2	1	7	13	23	1	1	13	15	31	2	11
(佐伯区)	16		5			15	36		2	5	13	20	2	1	18	21	62	1	3
呉市	60	8	10	1		28	107	23	3	45	35	106	28	2	62	92	206	3	23
竹原市	2		2			2	6	1		2		3	1		2	3	14	1	1
三原市	14	11	14			15	54	7	1	6	4	18	3		8	11	26	2	3
尾道市	47	1	14	1		7	70	19	3	26	22	70	13	3	38	54	138	5	9
因島市	1						1			1		1							
福山市	94	14	23	1		24	156	34	15	52	45	146	19	10	64	93	271	3	28
府中市	11	2	4			3	20	2	1	6	4	13	1	1	4	6	16	1	2
三次市	23	2	4			3	32	10	2	10	8	30	4	3	11	18	34	2	3
庄原市	19	5	3			4	31	18	1	18	1	38	9	1	7	17	46		3
大竹市	4	1	5			3	13	1		1	2	4	1		11	12	34		1
東広島市	47	10	10			27	94	41	11	21	32	105	15	4	18	37	87	4	15
廿日市市	21	3	5			11	40	2		15	17	34	1	2	12	15	41		4
安芸高田市	10	4	3			10	27	6		5	1	12	2	1	2	5	16	1	5
江田島市	12	2				8	22	7	4	7	5	23	4	1	12	17	45	1	3
府中町	13	1	1			5	20			4	9	13			11	11	26		6
海田町	6	1				3	10	2		6	2	10	1		3	4	4		

No.1

(平成18年中)

損害見積額(千円)								焼損面積			
爆発を除く							爆発	計	建物(m ²)		林野(a)
建物	収容物	林野	車両	船舶	航空機	その他			床面積	表面積	
601,486	406,587	1,598	4,086			3,917	4	1,017,678	7,242	2,573	722
70,306	69,583		773			141		140,803	837	757	
28,926	69,946		335			15		99,222	489	101	
195,112	65,066		690			1,687		262,555	1,361	344	
39,365	34,631		131			1,272		75,399	651	374	
173,798	105,660	1,598	709			237		282,002	2,464	266	721
66,699	52,389		206			540	4	119,838	1,113	239	1
4,372	2,662		13			4		7,051	117	319	
22,908	6,650		1,229			21		30,808	210	173	
90,838	55,784	7	2,558	13		561	6	149,767	3,208	597	36
10,601	3,265		600			325		14,791	335		
43,087	11,456		20,812			1,229		76,584	2,234	8	94
77,744	26,802		6,856	280		1,026		112,708	1,563	122	5
39	3							42		2	
159,631	66,004	4,876	6,347	16,740		6,333	563	260,494	4,429	260	11,929
4,677	12,705		451			945		18,778	145	46	7
42,614	17,455		1,055			4,171		65,295	1,371	67	8
86,691	18,981	38	275			212		106,197	2,409	91	42
3,457	1,121		308					4,886	68		62
142,466	64,111	3	9,271			6,515		222,366	3,248	1,249	44
35,734	11,998		5,220			98		53,050	599	13	5
32,450	16,487		2,856			905		52,698	671	60	24
45,282	3,059					179	2,999	51,519	530	12	2
1,250	305		221			2		1,778	18	41	5
3,779	1,973					80		5,832	35	22	

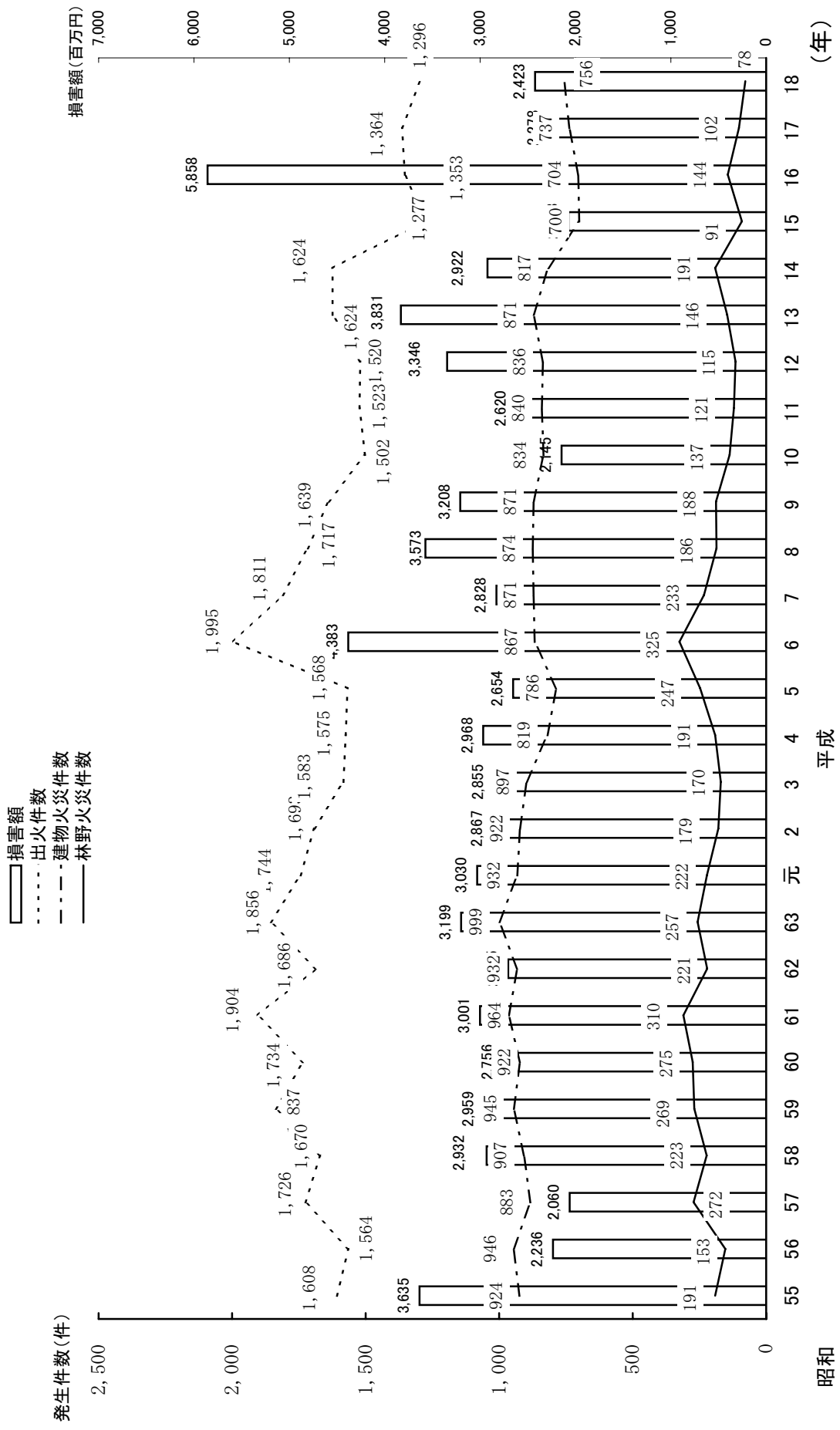
第9-4表 市町村別火災発生状況

区分 市町村名	出火件数						焼損棟数					り災世帯数				り災者		
	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計	全 損	半 損	小 損	計	り 災 人 員	死 者	負 傷 者
熊野町	3		2			4 9			2	2	4			4	4	8		4
坂町	8					4 12		1	2	5	8			1	1	4	1	3
広島市(旧湯来町)	5	1				1 7		2	2	1	5			2	2	3		
廿日市市(吉和村)	1	1				1 3			1		1			1	1	4		
北広島町(旧芸北町)	1	1				2			1		1		1	1	2	6		
安芸太田町	3	1				4 1			3		4			3	3	5		
北広島町	4	1	4			6 15			3	2	5			2	2	11	1	1
東広島市(旧安芸津町)	3		2			2 7			1	2	3			2	2	5	1	2
* 瀬戸田町	3					3 1			3		4			1	1	1		
大崎上島町	4	1	1			4 10	4	1	2	1	8	2		2	4	16		2
世羅町	15	2	3			8 28	8	1	6	7	22	2	1	4	7	16	5	
* 神辺町	1	1				2				1	1			1	1	1		
神石高原町	4	2	3			1 10	2		3	1	6	1		4	5	15	1	1

(平成18年中)

損害見積額(千円)								焼損面積			
爆発を除く							爆発	計	建物(m ²)		林野(a)
建物	収容物	林野	車両	船舶	航空機	その他			床面積	表面積	
167	25		55					247	1	5	
3,166	103					55		3,324	197	2	
7,274	11,673							18,947	108	13	1
28	25							53		5	43
3,465	117							3,582	27		9
1,436	312							1,748	57	39	100
72	205	428	3,785			226		4,716		8	77
23	60		29					112		5	
65,198	26,097							91,295	272	105	
20,102	15,341		120			10		35,573	616	20	1
23,236	5,743		1,103			204		30,286	1,274	10	28
3								3			3
7,808	8,715	40	1,648					18,211	358	19	22

第9-5表 火災件数・損害額の推移



第9-6表 火災による死者・負傷者の推移

